大栄地区小学校統合推進委員会

委員会だより

２０１４．６．１５
【創　刊　号】
成田市教育委員会
推進委員会事務局

小学校統合推進組織が発足しました

大栄地区小学校の統合につきましては、平成２５年度に区長会において、全世帯を対象としたアンケート調査が行われました。そして、賛成多数という調査結果を受けて行われた区長会臨時総会において、小学校統合案への同意を採決し、このことについての区長回覧を行ったうえで、平成２５年８月２０日付けで市長・教育長宛てに統合同意文書が提出されました。

教育委員会では、この同意を受けて平成２６年度、大栄地区統合小学校建設に係る測量や基本設計についての予算を計上し、新規事業化をいたしました。

このような経過を踏まえ、大栄地区において小学校統合の推進にあたり必要な事項のとりまとめや調整、新しくできる学校はどうあるべきか、そしてその学校でどのような教育を展開していくか等々、様々な課題を調査・検討し、また、教育委員会と協議していただくために「大栄地区統合小学校推進委員会」が発足しました。

委員は、学区代表（５名）、区長会長、関係組織代表（２名）、小中学校幼稚園保育園ＰＴＡ・保護者代表（８名）、小中学校校長・教頭（８名）、市議会議員〈顧問〉（３名）、合計２７名で構成されています。

推進委員会は、所属する組織における任期や異動等で委員構成が代わることはあっても、統合小学校の開校まで新しい学校づくりに向けて、積極的にかかわっていただくことになります。

推進委員会のメンバー(敬称略)

佐藤　勲（津富浦学区）
大越　かおる（大須賀学区）
平野　幸一（桜田学区）
高橋　照典（前林学区）
遠藤　舜（川上学区）
玉井　實（区長会長）
飯嶋　孝（青少年健全育成協議会会長）
鈴木　昭夫（青少年相談員地区会長）
高木　浩司（大栄中 PTA 会長）
髙松　常子（大須賀小 PTA 会長）
山﨑　和恵（桜田小 PTA 役員）
菅澤　文男（前林小 PTA 会長）
酒井　路子（津富浦小 PTA 会長）
金杉　勝弘（川上小 PTA 会長）
菱木　宏（大栄幼稚園 PTA 会長）
佐藤　貴子（大栄保育園保護者代表）
渡邊　邦明（大栄中校長）
金山　京子（前林小校長）
葉山　憲一（大栄中教頭）
石井　忠敏（大須賀小教頭）
渡邊　勝久（桜田小教頭）
中郡　岳夫（前林小教頭）
渡邊　秀子（津富浦小教頭）
鈴木　春雄（川上小教頭）
秋山　忍（市議会議員）
伊橋　利保（市議会議員）
福島　浩一（市議会議員）

第１回推進委員会（委員会設立会議）

設立会議では、まず発起人である玉井委員（大栄地区区長会長）から、推進委員会設立までの経緯等について報告がありました。　集まった皆さんはその趣旨に賛同され、提案された大栄地区小学校統合推進委員会規約が原案どおり承認され、平成２６年３月１４日付けで「大栄地区小学校統合推進委員会」が正式に設立されました。

なお、委員長には佐藤勲委員が、副委員長には金山京子委員、平野幸一委員が選ばれました。

第２回推進委員会（下総みどり学園視察）

推進委員会では、平成２６年４月２３日に、本年度、下総地区に開校した「下総みどり学園」の視察を行いました。下総みどり学園は、下総地区４小学校が統合した新設の下総小学校と、既設の下総中学校との施設一体型の小中一貫教育を展開しています。このような取り組みは、成田市では初めてであり、千葉県でも３番目となります。

新しい設計・規格で建設された新校舎は、広々として機能的です。新しい校舎で学ぶ子どもたちの表情も明るくみえます。下総小学校の校舎は既設中学校のグラウンドに建設され、中学校校舎とは通路で接続されています。（中学校グラウンドは隣地に新しく整備しました。）中学校校舎も平成２１年度に大規模改造工事を行っており、８年生と９年生の教室があります。

視察の内容は、施設の見学と学校運営等についての教育委員会と校長先生からの説明でした。下総みどり学園では、校長が一人で、小中学校が同じ教育目標のもとに、すべての教職員が小中学校の垣根を越えて児童生徒の指導にあたっています。このことで小学校から中学校への接続を滑らかにし、子どもたちの戸惑いやギャップを軽減することができます。実際の授業では、普通は中学校から行う教科担任制を５年生から行っていることは大きな特徴です。また、清掃を１年生から９年生までの縦割り班で行い異学年交流を進めていますが、先生に促されることなく自然に上級生が下級生の面倒をみるようになっています。

平日の日中であったことから視察された委員は１２名にとどまりましたが、真新しい校舎を見学された委員の方々は統合小学校のイメージがつかめたのではないかと思います。また今後も、このような機会を設けて、推進委員会委員に限らず、より多くの大栄地区の皆さんに新しい学校をご覧いただきたいと思います。

第３回推進委員会

平成２６年５月２０日に開催された推進委員会では、本年度、教育委員会が行う大栄統合小学校基本設計業務についてご説明いたしました。基本設計業務の内容は、校舎の基本的な構造や仕様などの設計、概算事業費の積算や事業工程表、完成予想図の作成となります。また、今回の基本設計業務を行う前段として基本計画の作成も行います。基本計画業務において、大栄中学校敷地に統合小学校をどのように配置するのか、中学校校舎との関係をどうするのか等を検討します。

この日の議題は、統合小学校の基本設計を進めていくにあたって、重要な要件となる小中一貫教育を目指すかどうかについてでありました。

冒頭のあいさつで佐藤委員長は「下総みどり学園を視察して、予算などを惜しまずに投入した成田市の本気さをうかがい知ることができ、私たちが恵まれた立場にあることを実感した。児童数の減少により、慣れ親しんだ学校が無くなるというピンチを、新しいコンセプトを持つ学校を新設するという、またとないチャンスと捉えて、今後顕在化してくる具体的な課題を解決するべく、皆様のお知恵を拝借していきたい。」と述べられました。これを受けて、慎重な審議が行われ、下総みどり学園の視察や、中学校校舎の老朽化の現状、教育委員会からの説明を受け、推進委員会としては、小学校と中学校の施設一体型の小中一貫教育を目指すという方向性が確認されました。

ただし、地区の皆さんへの周知や理解を進めるための方策として、学校ごとに家庭教育学級等により下総みどり学園を視察することや、教育委員会も説明会を行っていくことなどが提案されました。この委員会だよりの発行も委員会の活動状況等を地域の皆さんへお知らせするために決定されたものです。

大栄地区統合小学校の開校に向けて、今後はこの推進委員会が大栄地区の中心になって、様々な協議、検討を進めていくことになります。教育委員会といたしましても、新しい学校はどうあるべきか、どのような教育を展開していくのかなど、推進委員会からいただいたご意見を尊重し、整備構想案で掲げた平成３４年度開校を少しでも早めることができるように努力してまいります。

また、大栄地区の皆様には、統合小学校の開校までの間、この広報誌を通じてその進捗状況等をお知らせしてまいります。統合小学校に関する様々なご質問やご要望は推進委員会委員の方々、あるいは教育委員会事務局まで遠慮なくお寄せくださいますようお願いいたします。

教育委員会事務局：TEL0476-20-1580